

令和3年度 八条中学校 学校運営方針

～学校教育目標～

「自律・貢献・志」

～ 学ぶことが楽しいと実感できる学校 ～

【目指す生徒像】

- ・自分を律し、志をもって努力し続けることができる生徒
- ・他者を思いやり、より良い社会づくりにはたらきかける生徒
- ・仲間と学び合うことを通して、主体的に学び考える生徒

【子どもたちにつけたい力】

- ・粘り強く挑戦する力
- ・主体的に学び合う力
- ・感情をコントロールする力
- ・折り合いをつける力

【目指す教職員像】

- ・自らのキャリアアップのために努力を続ける教職員
- ・教育目標を理解し、チームの一員として行動できる教職員
- ・生徒にとって「社会で生きていくためのモデル」となる教職員

《重点的な取組》

1 自ら学ぶ力の育成

(1) すべての生徒が主体的に学ぶ授業づくり

- ・関わり合い、学び合う環境づくり
- ・「分からない」が言える環境づくり
- ・質の高い課題づくり

(2) 「校内授業研修」の充実を図ることで授業力向上に努めるとともに同僚性を高める。

(3) 与えられた課題に取り組むだけでなく、自主学習ノート等を活用して自学自習の習慣化を図る。

2 一人一人の生徒を徹底的に大切に、自他を大切にする態度の育成

(1) 「元気なあいさつができる、時間を守れる、人の話をしっかり聴ける」生徒を育成する。

(2) 「一人ひとりかけがえのない八中生」という意識で寄り添い、互いに認め合い励まし合う集団作りに取り組む。

(3) 望ましい生活習慣の実践に向け、自律的な行動がとれるような生徒を育成する。

(4) 「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」を組織的に行う。

3 豊かな心の育成

- (1) 社会の一員として必要な公共心や公德心、生命を尊重する心を育てる。
- (2) 学校行事等を通して、自律の精神を身につけ強い意志や感情をコントロールする力を育成する。
- (3) 互いの良さや可能性を発揮するため、異なる意見や考えをもとに、さまざまな解決の方法を模索し、折り合いをつける力を高める。

4 小中連携の充実

- (1) 校種間連携・接続を推進し、9年間を見通した学習指導・生徒指導を推進する。
- (2) 小中一貫教育の目標を踏まえてカリキュラムマネジメントの視点で具体的取組をすすめる。

5 「困り」を抱える子どもに対する支援

- (1) 障がいのある子どもの「困り」に対する適切な支援、校種間連系・接続等の具体的な取組を校内委員会を中心とした全校的な組織体制の中で推進する。
- (2) 不登校に関して、未然防止に向けて「児童生徒理解・教育支援シート」をはじめ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用など初期の段階で適切に対応する。
- (3) 発達に遅れがある、または発達に心配のある子どもについて、育成学級や通級指導など多様な学びの場を活用し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援を推進する。

6 GIGA スクール構想の取組

- (1) 「情報活用能力」を育てるために子どもの発達段階に応じて ICT 機器を活用する。
- (2) これまでの教育実践と ICT 活用を適切に組み合わせることで、協働的な学びと個別最適な学びを実現させる。

7 地域を意識した取組

(1) ふれあい手作りカレンダー

文化祭での展示作品である「地域の貼り絵」をカレンダーにし、地域の高齢者（70 才以上）に配布する。本校が永年、取り組んでいる行事。

- (目的) ○原画の作成、貼り絵を作る、カレンダーを配ることを通して、地域をあらためて知る。
○「ありがとう」と言ってもらえる体験とする。

(2) その他の取組

- ① 松尾祭への参加（神輿を担ぐ体験）
- ② 南区一斉清掃（部活ごとに参加）
- ③ 西寺育成苑まつり（準備や後片付けなどの生徒の手伝い・吹奏楽部の演奏など）
- ④ 認知症サポーター（2 年生取組）
- ⑤ ふれあいトーク（1 年生取組）
- ⑥ 吹奏楽部の地域活動・地域貢献

唐橋区民運動会、唐橋子ども祭り、唐橋防災の夕べ、南大内クリスマスコンサート等

- ⑦ 福祉体験（1 年生取組）